

# 論語教室だより

『寺子屋・こども論語塾』世話人会  
第 83 号  
2018 (平成30) 年2月17日(土)

## 「めいじゆ たなごころ あ 『明珠、掌 に在り』

寺子屋・こども論語塾 主宰 新田 修

禅の言葉です。「明珠」は大切な宝物を「掌」は手の平を意味します。つまり、「本当に大切なものは、どこか遠くへ探しに行くものではない。自分の手の中にある。」と云うことです。

皆さんは、自分にとって一番大切なものは何だと思えますか。命・健康・お金・学問・自分・家族等々、人それぞれ違うのではないのでしょうか。

では今から約 2,500 年前の中国の孔子はどうだったのでしょうか。『論語』の中に以下のような文章が出てきます。聡明な弟子の子貢が孔子にはじめて会った時のやり取りです。

子貢が尋ねた。「先生、たった一語で、一生それを守っていれば間違いのない人生が送れる、そういう言葉がありますか」難しい質問に孔子は、「それは恕かなあ」と答える。「それは恕だ」と断定せずに、「それは恕かなあ」と曖昧に答えているところに、孔子の人間性の味わい深さを垣間見ることができます。

自分がされて嫌なことは、決して人にしてはいけない、それが恕なのだ孔子は説いているのです。

つまり、恕とは思いやりということです。言い換えると、他を受け入れ、認め、許すということです。

自分のことと同じように人のことを考える。それこそが、人生で一番大切なことだと孔子は教えたのです。

孔子にとって明珠は恕であり、それは掌にいつでもある。と言っているように私には思えるのです。

決して遠くへ探しに行かなくても、人生で一番大切な「思いやりの心」は自分の身近な手の中にあります。

皆さんと一緒に「その心」を探求していきたいと思えます。

### 熟 生 紹 介

矢幅 友耀君 氏 名 安藤 凜さん

なかのしま幼稚園 幼稚園名 札幌インターナショナル幼稚園

太鼓 好きなこと プールやブランコで遊ぶこと

新幹線の運転士 尊敬する人 探し中

### そ の 他

将来の夢は家族を乗せて北海道新幹線の格好い

い運転士になることだそうです。特技は太鼓を叩く

ことで、好きな食べ物はマグロのお寿司とのこと。

この4月からいよいよ小学生になるので、格好

いい一年生になるよう頑張ると話してくれました。

とにかく、良く食べ、良く遊び、良く寝ると

のこと。将来の夢はケーキ屋とアイドルと医者

を掛け持つことだそうです。論語・公文・ピア

ノ・プール・習字・ラグビーと両親が共働き

の為、託児代わりに習い事をしているとのこと。

### 先生からのコメント

自分の思っていることをはっきり言える子供さ

んで、論語・坐禅にも積極的に取り組んでいる。

先日の論語塾で、「仕事で疲れて、朝起きれな

い時どうしたら良いか」との大人の塾生の質問に

「疲れてるんだから、寝てていいと思う」と友耀

君が答えてくれました。先生は感動しました。

最初に参加した時、いきなり手を上げて素読

をしてくれました。ビックリ仰天。お母さんの

仕事の関係で、なかなか参加できませんが、本人は

やる気満々です。弟とアイドルアニメの歌と

踊りをするのが楽しいとのこと。特技はすぐに

お友達になることだそうです。

来月(3月)は大人の塾生の安藤 さやか さん、こどもの塾生の山本 蘭さん を紹介します。

ファイル名 : 論語教室だより第 8 3 号.docx  
フォルダー : C:\Users\yohta\Documents\論語教室だより原稿  
テンプレート : C:\Users\yohta\AppData\Roaming\Microsoft\Templat  
es\Normal.dotm

表題 :

副題 :

作成者 : ishikawa

キーワード :

説明 :

作成日時 : 2018/02/16 4:25:00

変更回数 : 2

最終保存日時 : 2018/02/16 4:25:00

最終保存者 : 太田寛二

編集時間 : 0 分

最終印刷日時 : 2018/02/16 4:25:00

最終印刷時のカウント

ページ数 : 1

単語数 : 1,476 (約)

文字数 : 8,417 (約)